

マンフィーと青年基金の先月のイベントの事が記事になって Actio という雑誌の7月号に載りましたよ！！

イベントの内容や、震災ボランティア活動を行なっているスコープ団さんもイベントに来ていただき、少しですが紹介してあります！

是非読んでみてください！

アマゾンで購入可能です



# ACTIO REPORT

5/26 東京

## アフリカを知ろうチャリティイベント

「アフリカを知ろうチャリティイベント」が5月26日、東京港区のバー「BRON」で開催され、44名が参加した。主催は「マンフィーと青年基金」。

「マンフィーと青年基金」は在日ガナナ人を中心に、東京、新宿などで募金活動を行い、児童労働や貧困の問題を抱える貧しい村へ支援活動を行っている。2年前より行なっている街頭募金も含め、現地での活動を支援者に報告する初のチャリティイベントだ。



満席となった会場



報告するマンフィーと留学生パトリック

ガナナDJや太鼓演奏者がアフリカユニット「Afrikan」でゲスト参加。ジャンベ演奏が一体となって楽しんだ。

3・11以降、被災地での土砂処理等、宮城県に本拠地を置きボランティア活動を行っている「スコープ団」は、同じ駅周辺で募金活動を行ったことがきっかけで知り合った。彼らは「マンフィーと青年基金」から義援金1万2316円と寄せ書きを預かり、被災地へ届けた。ウコランザ村の約200人の村人が困窮している中で集めたお金彼らにとっては日本での200〜300万円に相当する。

感謝の気持ちを伝えたいと参加したスコープ団のメンバーは、支援先の村を知り、彼らが寄せてくれた募金の重みを知ったと語る。

代表を務めるプリンス・チャルズ・コフイ・マンフィーは、現地活動を写真で紹介しながら「半数以上の私の友人は既に亡くなっています。日本との違いは何でしょうかと、自身の生い立ちや故郷ウコランザ村での生活を紹介。教育・水・医療の大切さを訴え、学校・井戸・病院建設への募金協力や支援を呼びかけた。

(阿部峰志)

5/3-5 東北

## 東北ボランティアで人々のたくましさを感じた

5月3日から5日まで東北ボランティアツアーが行われた。主催は市民ボランティアふじみ野。ちょうど1年前のツアーは参加者1名だったが、今回は50人、ネットワークが広がっていることを感じる。

1日目、陸前高田市に到着。現地を1年ぶりに訪れると、瓦礫は一部を除いて、だいが片付いているようだった。しかし塩害で枯れた木々や天井まで浸水した体育館の跡などを見ると改めて津波の恐ろしさを感じる。

あいにくの雨で体を動かす作業はほとんど出来なかったが、現地で活動している人たちの具体的な話を聞くことができた。最初にボランティアセンターで活動している1さんに話を聞いた。もともとカメラマンだった彼は被災地の写真を撮っていたが、救援のあり方に疑念を覚悟を感じ、心を病み入院したこともあったという。

陸前高田は県外からのボランティアの受け入れ態勢がしっかりとあり、ボランティア参加者

<http://actio.gr.jp/2012/06/16122601.html>